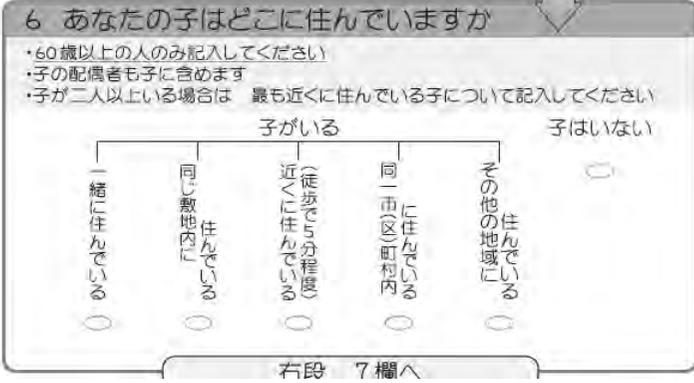
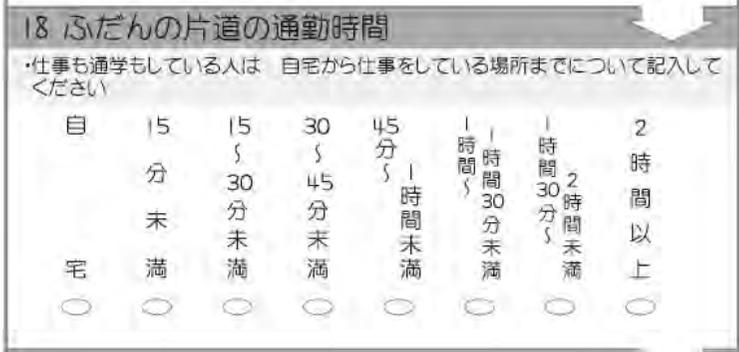
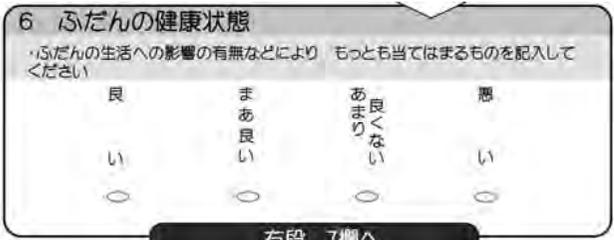
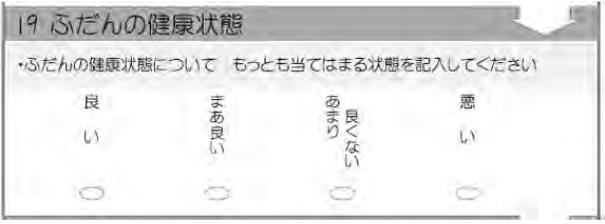


社会生活基本調査 調査票新旧対照表

平成28年調査(案)	平成23年調査	追加・廃止・変更理由
【調査票A】		
5 教育	5 教育	
<p>53</p> 		<p>・従来、専門学校については、修業年限などにより対応する学校区分を記入する方式としていたが、報告者負担軽減の観点から、平成24年就業構造基本調査と同様、在学者数の多い専門学校の区分を追加することで、従来の時系列を確保し、更に、教育と就業状態、生活時間の配分との関係を的確に捉えることが可能。</p> <p>・専門学校の追加に伴い、平成24年就業構造基本調査と同様、在学中、卒業の選択をした上で、学校の区分を記入する方式に変更し、学校の区分を統一化。</p>
6 あなたの子はどこに住んでいますか		
廃止		<p>・調査事項を把握する必要性の相対的な低下及び報告者負担の軽減を図る観点から廃止。</p> <p>※前回調査の結果において、子の居住地による生活時間の配分に大きな違いは見られず、平成18年調査の結果と比較しても傾向として大きな変化は見られない。</p>

平成28年調査(案)	平成23年調査	追加・廃止・変更理由
<p>廃止</p>	<p>18 ふだんの片道の通勤時間</p> 	<p>・調査事項を把握する必要性の相対的な低下及び報告者負担の軽減を図る観点から廃止。 ※通勤時間に関しては、本項目(ユージュアル方式)のほか、「生活時間について」において、より結果利用頻度の高いアクチュアル方式で把握している。</p>
<p>6 ふだんの健康状態</p> <p>※ 15歳以上の全ての人が回答</p> <p>54</p> 	<p>19 ふだんの健康状態</p> <p>※ 有業者のみ回答</p> 	<p>・健康状態は、有業者だけでなく、無業者の生活行動、生活時間の配分に大きな影響を与えていると考えられることから、調査対象を無業者に拡大。 ・健康状態をよりの確に把握するための判断基準として、説明文に「生活への影響の有無などにより」を追加。</p>

平成28年調査(案)

平成23年調査

追加・廃止・変更理由

19 学習・自己啓発・訓練について

19 学習・自己啓発・訓練について

(1)この1年間に何日ぐらいいましたか
【下の0-8の数字で記入】

(2)どのような目的で行いましたか
【当てはまるものすべてに記入してください】

(3)どのような方法で行いましたか
【当てはまるものすべてに記入してください】

英 語
英語以外の外国語
パソコンなどの情報処理
商業実務・ビジネス関係
介護関係
家庭・家事
人文・社会・自然科学
芸術・文化
その他

英 語
英語以外の外国語
パソコンなどの情報処理
商業実務・ビジネス関係
介護関係
家庭・家事
人文・社会・自然科学
芸術・文化
その他

21 学習・自己啓発・訓練について

21 学習・自己啓発・訓練について

(1)この1年間に何日ぐらいいましたか
【下の0-7の数字で記入】

(2)どのような目的で行いましたか
【当てはまるものすべてに記入してください】

(3)どのような方法で行いましたか
【当てはまるものすべてに記入してください】

英 語
英語以外の外国語
パソコンなどの情報処理
商業実務・ビジネス関係
介護関係
家庭・家事
人文・社会・自然科学
芸術・文化
その他

英 語
英語以外の外国語
パソコンなどの情報処理
商業実務・ビジネス関係
介護関係
家庭・家事
人文・社会・自然科学
芸術・文化
その他

・従来、行動の有無(「した」、「しなかった」)において、「した」を選択した場合には、更に、行動頻度を記入する必要があり、二重の記入負担となっていた。今回、行動の有無欄を削除し、行動頻度欄に統合することで、報告者負担軽減を図る。また、時系列を確保するため、従来一定程度存在した、行動頻度不詳に係る選択肢として、「何日ぐらいいたかわからない」を追加。

20 ボランティア活動について

20 ボランティア活動について

(1)この1年間に何日ぐらいいましたか
【下の0-8の数字で記入】

(2)1日当たり何分ぐらいいましたか
【下の0-10の数字で記入】

(3)団体などに加入して行っていますか
【当てはまるものすべてに記入してください】

健康や医療サービスに関与した活動
高齢者を対象とした活動
障害者を対象とした活動
子供を対象とした活動
スポーツ文化・芸術・学術に關した活動
まちづくりのための活動
安全な生活のための活動
自然や環境を守るための活動
災害に關した活動
国際協力に關した活動
その他

健康や医療サービスに関与した活動
高齢者を対象とした活動
障害者を対象とした活動
子供を対象とした活動
スポーツ文化・芸術・学術に關した活動
まちづくりのための活動
安全な生活のための活動
自然や環境を守るための活動
災害に關した活動
国際協力に關した活動
その他

22 ボランティア活動について

22 ボランティア活動について

(1)この1年間に何日ぐらいいましたか
【下の0-7の数字で記入】

(2)1日当たり何分ぐらいいましたか
【下の0-10の数字で記入】

(3)団体などに加入して行っていますか
【当てはまるものすべてに記入してください】

健康や医療サービスに関与した活動
高齢者を対象とした活動
障害者を対象とした活動
子供を対象とした活動
スポーツ文化・芸術・学術に關した活動
まちづくりのための活動
安全な生活のための活動
自然や環境を守るための活動
災害に關した活動
国際協力に關した活動
その他

健康や医療サービスに関与した活動
高齢者を対象とした活動
障害者を対象とした活動
子供を対象とした活動
スポーツ文化・芸術・学術に關した活動
まちづくりのための活動
安全な生活のための活動
自然や環境を守るための活動
災害に關した活動
国際協力に關した活動
その他

・従来、行動の有無(「した」、「しなかった」)において、「した」を選択した場合には、更に、行動頻度を記入する必要があり、二重の記入負担となっていた。今回、行動の有無欄を削除し、行動頻度欄に統合することで、報告者負担軽減を図る。また、時系列を確保するため、従来一定程度存在した、行動頻度不詳に係る選択肢として、「何日ぐらいいたかわからない」を追加。

55

21 スポーツ 趣味・娯楽について

23 スポーツについて

・従来、行動の有無(「した」、「しなかった」)において、「した」を選択した場合には、更に、行動頻度を記入する必要があり、二重の記入負担となっていた。今回、行動の有無欄を削除し、行動頻度欄に統合することで、報告者負担軽減を図る。また、時系列を確保するため、従来一定程度存在した、行動頻度不詳に係る選択肢として、「何日ぐらいしたかわからない」を追加。

21 スポーツ 趣味・娯楽について

スポーツ 趣味・娯楽をこの1年間に何日ぐらいましたか
 (記入した項目を含む) 右の1～7の数字から選択してください

0: まったくしなかった
 1: 1～4日
 2: 5～9日
 3: 10～19日(月～3回)
 4: 20～29日(毎週2～3回)
 5: 30～39日(週に4回)
 6: 40～49日(週に5回)
 7: 50日以上(ほぼ毎日以上)

<スポーツ>
 ・単に見物している場合や
 観戦・研修 として行うものは
 除きます
 ・クラブ活動や部活動は含
 めます
 ・この1年間に1日もしなかつ
 た場合を含め 全ての項目
 に入力してください

<趣味・娯楽>
 ・授業・仕事および家事として
 行うものは除きます
 ・クラブ活動や部活動は含
 めます
 ・この1年間に1日もしなかつ
 た場合を含め 全ての項目
 に入力してください

野球 (野球ボールを含む)	テニス	ボウリング	ジョギング・マラソン
ソフトボール	バドミントン	つり	ウォーキング、軽い体操
バレーボール	ゴルフ (練習場を含む)	水泳	役員を含む トレーニング
バスケットボール	乗道	スキー・スノーボード	その他のスポーツ(した場合) (例えば乗馬、釣り、登山)
サッカー (フットサルを含む)	剣道	登山・ハイキング	
卓球	ゲートボール	サイクリング	

23 スポーツについて

・単に見物している場合や観戦・研修として行うものは除きます
 ・クラブ活動や部活動は含めます

(2)この1年間に何日ぐらいましたか
 (右の1～7の数字まで記入)

0: まったくしなかった
 1: 1～4日
 2: 5～9日
 3: 10～19日(月～3回)
 4: 20～29日(毎週2～3回)
 5: 30～39日(週に4回)
 6: 40～49日(週に5回)
 7: 50日以上(ほぼ毎日以上)

つづき

(1)どのようなスポーツをしましたか

野球 (野球ボールを含む)	テニス	ボウリング	ジョギング・マラソン
ソフトボール	バドミントン	つり	ウォーキング、軽い体操
バレーボール	ゴルフ (練習場を含む)	水泳	役員を含む トレーニング
バスケットボール	乗道	スキー・スノーボード	その他のスポーツ(した場合) (例えば乗馬、釣り、登山)
サッカー (フットサルを含む)	剣道	登山・ハイキング	

24 趣味・娯楽について

・従来、行動の有無(「した」、「しなかった」)において、「した」を選択した場合には、更に、行動頻度を記入する必要があり、二重の記入負担となっていた。今回、行動の有無欄を削除し、行動頻度欄に統合することで、報告者負担軽減を図る。また、時系列を確保するため、従来一定程度存在した、行動頻度不詳に係る選択肢として、「何日ぐらいしたかわからない」を追加。
 ・近年の情報通信技術の進展(インターネットでのサービスの拡大等)を踏まえ、各種観覧・鑑賞(スポーツ、美術、演芸・演劇・舞踊、映画、音楽)に関する項目について、名称、範囲を変更。

56

24 趣味・娯楽について

・授業・仕事および家事として行うものは除きます
 ・クラブ活動や部活動は含めます

(2)この1年間に何日ぐらいましたか
 (右の1～7の数字まで記入)

0: まったくしなかった
 1: 1～4日
 2: 5～9日
 3: 10～19日(月～3回)
 4: 20～29日(毎週2～3回)
 5: 30～39日(週に4回)
 6: 40～49日(週に5回)
 7: 50日以上(ほぼ毎日以上)

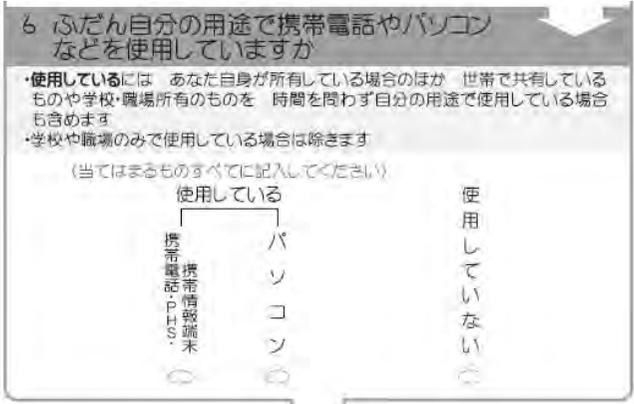
つづき

(1)どのようなこともしましたか

スポーツ観戦 (テレビ中継も含む)	観劇・演劇	編み物・手芸	読書
美術鑑賞 (テレビ中継も含む)	料理・菓子作り	趣味としての料理・菓子作り	音楽鑑賞
演劇・演劇鑑賞 (テレビ中継も含む)	音楽・音いじり・ガーデニング	音楽・音いじり・ガーデニング	パチンコ
映画鑑賞 (テレビ中継も含む)	日曜大工	日曜大工	カラオケ
映画鑑賞 (テレビ中継も含む)	洋書・社交ダンス	映画・劇作の制作	サイバー・パズルゲーム (パソコン・タブレット)
音楽会などによるクラシック音楽鑑賞	書道	陶芸・工芸	遊園地・動物園・水族館などの見物
音楽会などによる民謡・演歌・歌謡鑑賞	茶道	写真の撮影・プリント	キャンプ
CD・DVD・レコードなどによる音楽鑑賞	和裁・洋裁	釣り・射撃・信子・模型などの製作	その他の趣味・娯楽(した場合) (例えば乗馬、釣り、登山)
テレビ中継による音楽鑑賞		趣味としての読書	

平成28年調査(案)	平成23年調査	追加・廃止・変更理由
<p>28 ふだん世帯員以外の人から介護の手助けを受けていますか</p> <div data-bbox="78 255 896 391"> <p>28 ふだん世帯員以外の人から介護の手助けを受けていますか ・世帯員以外の人からの介護の手助けとは、別居の親族からの手助けや、介護サービス(訪問介護、デイサービス)などをいいます ・介護には、介護保険制度で要介護認定を受けていない人に対する介護も含めます</p> <p>受けていない 月に3日以内 週に1日 週に2日 週に3日 週に4～5日 週に6日以上</p> </div>		

58

平成28年調査(案)	平成23年調査	追加・廃止・変更理由
【調査票B】		
5 教育	5 教育	
		・調査票Aと同様。
廃止	<p>6 ふだん自分の用途で携帯電話やパソコンなどを使用していますか</p> 	<p>・調査事項を把握する必要性の相対的な低下及び報告者負担の軽減を図る観点から廃止。 ※携帯電話やパソコンの使用が一般的となっている状況において、従来の「使用しているか否か」を把握する必要性は低下しているほか、他調査(通信利用動向調査)でも同様の内容を把握している。</p>
59 6 ふだんの健康状態	15 ふだんの健康状態	
		・調査票Aと同様。
16 生活時間について	17 生活時間について	
		<p>・近年のスマートフォン等の急速な普及を踏まえ、インターネット接続以外による利用も合わせて把握する観点から、「インターネットの利用」を「スマートフォン・パソコンなどの使用」に変更。 ・さらに、スマートフォン等の生活行動への影響と関係をよりの確に把握する観点から、主な行動、同時行動の双方に設定。</p>
20 ふだん世帯員以外の人から介護の手助けを受けていますか	21 ふだん世帯員以外の人から介護の手助けを受けていますか	
		・調査票Aと同様。
24 在学・在園の状況	25 在学・在園の状況	
		・調査票Aと同様。

